



■K-580 主要諸元
 ベース車両：ハイエーススーパーロング
 シフト・駆動形式：4AT・FR
 全長×全幅×全高：5900×2230×2750mm
 乗車・就寝定員：7/6名
 エンジン：直4DOHC・2693cc
 最高出力：111kW (151ps)
 最大トルク：241Nm (24.6kgm)
 燃料・タンク容量：ガソリン・70ℓ
 価格：845.4万円
 ◎カトーモーター
 新潟県燕市小高6245-1
 ☎0256-62-6516
<http://www.katomotor.co.jp>

スーパーロングのボディカットで 大型モーターホームの領域に突入

これまでベース車両の構造部にはできるだけ手を触れなかったカトーモーターが、完全なボディカットタイプのキャブコンをフラッグシップモデルとして登場させた。その内容はかなり意欲的で新たな技術投入のオンパレードである。

まず目を引くのが独自開発された床暖房のシステムだ。デュアルフロア状態になった空間部分に、FFヒーターの暖気を回すのだが、使用される機器はボディサイズから考えると、十分な送風力も確保している。

次に注目したいのがサブバッテリーシステムだ。これもコントローラーをはじめ、電子部品レベルから製作した完全オリジナル品。基本的にサブバッテリーは2系統接続でき、1系統を充電しているときはもう片方を使用するのが基本となる。バッテリーを保護する観点からこのシステムを採用したのだ。さらにサブバッテリーが外部電源やソーラーから満充電にまで至つ

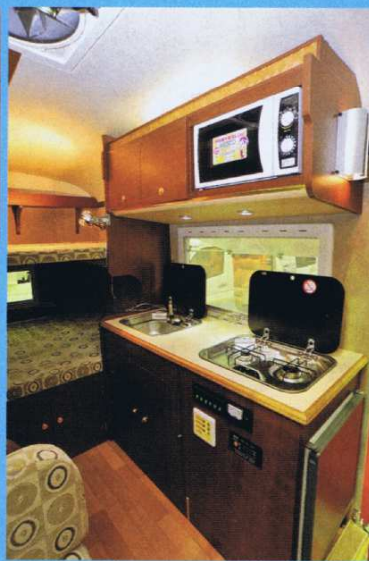
●標準装備：105Ahサブバッテリー×4/40ℓ給排水タンク/56ℓ1ウェイ冷蔵庫/14ℓポータブル冷蔵庫/FFヒーター/22インチTV+DVDプレーヤー+350Wインバーター/温水式リヤヒーターほか
 ●パリエーション：K-580特装2.7ℓガソリン2WD845.4万円



たら、メインバッテリーへの充電を開始する機能も付く。これで寒い季節のバッテリー上がりも格段に減るに違いない。ボーンから始まった凝った形状のアルミのボディも特徴だ。



●運転席上部、通常はバンクベッドになる部分は巨大収納庫。手荷物類はすべて収められそうな大きさ。キッチン設備も豪華で収納力もかなりのもの。各部の作りが大きいのだ

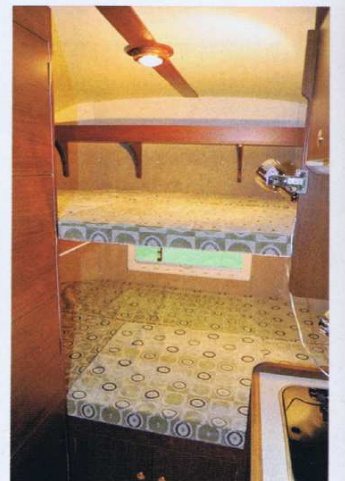


●ついに登場するインテリジェントサブバッテリーシステムという機能。ツインサブバッテリーは最大400Ahのコントロールが可能。現状ではまだ未搭載だった

POINT とにかく、どこを見ても 広々している



●室内長は4100mmで室内幅2060mmと、通常の国産キャブコンと比較しても明らかに広い室内。ダイネットはL字型ラウンジだが、普通の対面式のタイプも選べる。冷蔵庫2つというもおもしろい考え方だ



●ちょっと広すぎたかなあ？と開発者がいうほどのリヤ常設ベッドは2060×1300mm。確かに1人で寝たらそうだろうが、バンクベッドがないボディ形状なので、ファミリーで使うとすればやはりこれくらい欲しくなる

